

「どらやきのまち米子」物語



 丸京製菓株式会社

「どらやきのまち米子」宣言

米子のまちをもっと元気にしたい!

そのためには、米子市民ひとりひとりが米子の良さを再発見し、自信と誇りを取り戻すことが出発点です。鳥取県の人口は、若い人を中心にどんどん減ってきてる現実をご存知ですか?平成の大合併では、まちに活力をつけようと、米子市は近隣町村と合併して20万人をめざしましたが、15万人にとどまっています。道州制導入など日本の姿が大きく変化しようとしている今、いったいわれわれの米子はどうなってしまうのでしょうか?

いや、ちょっと見直してみて下さい。米子には実はたくさんの魅力があるはずです。ただ、我々がそれに気づいていないだけでは?

みなさん!例えば、丸京製菓の「どらやき」は世界一です。すなわち米子は「どらやき生産量世界一のまち」なんです。これは私たちだけでなく、米子のみなさんと一緒に育ててきたものだと、私たちは考えています。

米子は、お抹茶の消費量が日本の中でもかなり多い地域であることをご存知ですか?だから昔からずっと和菓子とお茶は多くの方に親しまれてきました。鳥取県は、女性の就業率がかなり高い県であることをご存知ですか?忙しく働く主婦にとって、年齢を問わず、手軽におやつや朝食、軽食に活用できる「どらやき」はとても便利で、お役に立ってきました。しかも甘さ控えめでおいしい!その「どらやき」のおいしさを引き出してくれる「氷温技術」。これも鳥取県が誇る食品加工技術で、世界から注目を浴びています。名水として知られる大山山麓の水、鳥取県産の新鮮な玉子も「どらやき」にふんだんに使っています。

鳥取県は、環日本海経済圏交流を軸に自立の道を模索しています。そんな中、知事が上海(中国)で鳥取県産の「どらやき」を発見して感動したとセミナーで話をされていたそうです。丸京製菓のどらやきは、アメリカ、中国、韓国、オーストラリア、ヨーロッパへとどんどん拡大しています。世界が「どらやき」を食べ始めました。

「どらやき世界一」は、こうしたこの地域の豊かな環境と、米子市民によりつくりあげてもらったものです。これも、米子市民の大きな誇りのひとつです。

我々は、本日宣言します!

「どらやき」を米子の新しい名物に!

「どらやきのまち米子」を米子市民でつくりあげたい!

そして、米子に自信と誇りをとりもどしましょう!



丸京製菓株式会社
代表取締役社長 薦見 浩生

皆さん知つてましたか!?
米子は「どらやき世界一のまち」なんです!!

丸京製菓の本社工場は単一工場として年間1億3千万個の生産力をもつ世界一の工場です。日本全国はもとより世界各国へ販売網をもっており、米子から日本の味を世界へ広めています。そして年間3億万個を目指します。まさにどらやき世界No.1は、私たちの「米子のまち」の誇りです。



丸京製菓のどらやきは

生産量世界 No.1

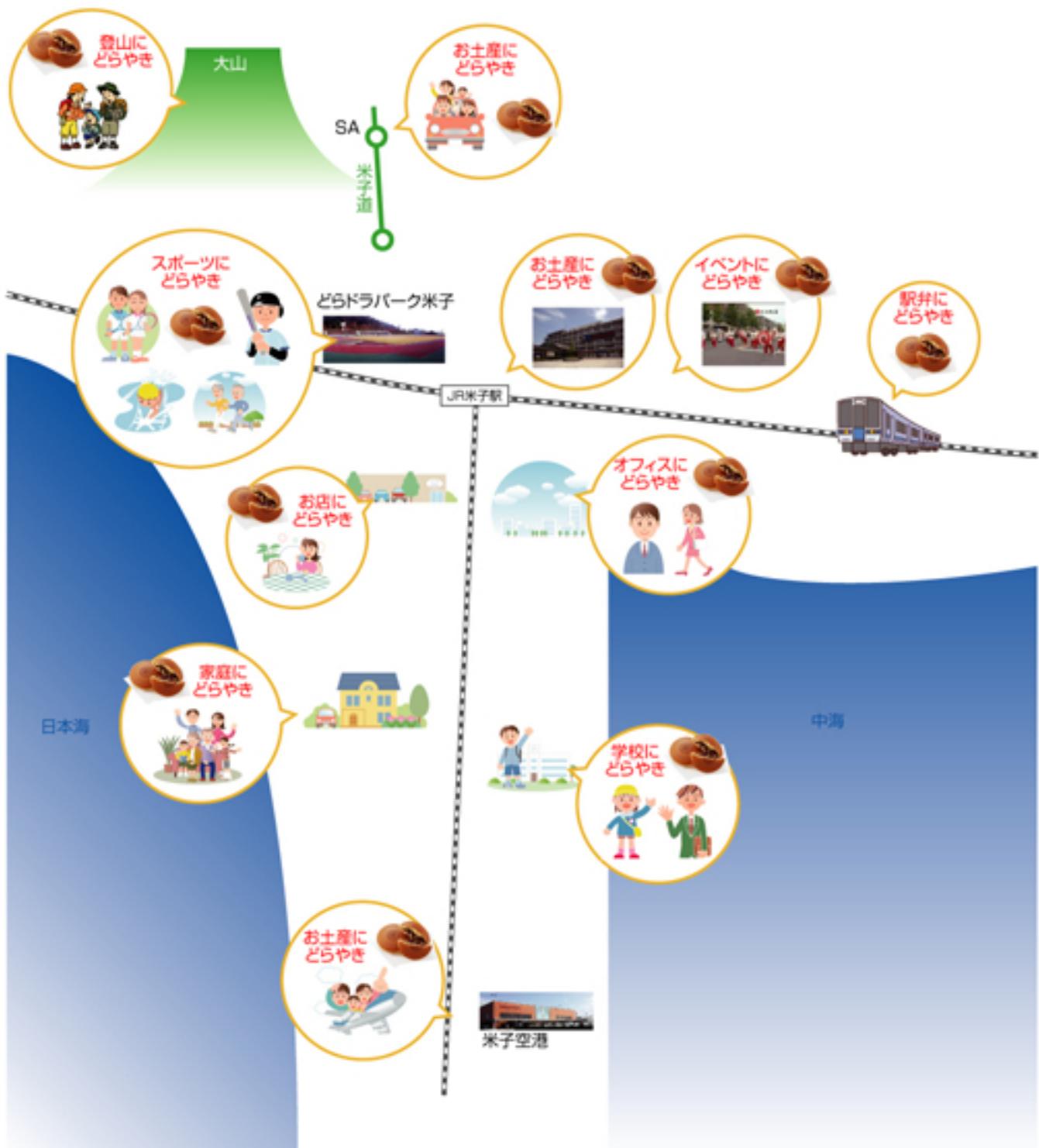
(単一工場として年間約1億3千万個)

売上げ No.1

どらやき世界No.1は、私たちの「米子のまち」の誇りです。

「どらやきのまち米子」ビジョン

米子のあらゆる場所、あらゆるシーンがどらやきで溢れている
「どらやきのまち米子」の全体像。
どらやき生産量世界一のまちから、どらやき消費量世界一のまちへ。



3つの重点プロジェクトをもって 「どらやきのまち米子」を実現させます。

重点プロジェクト

その1 「どらドラパーク米子」

「どらドラパーク米子」をどらやきのまち米子の誇れるシンボルにしていこう!!

●ネーミングライツを取得

- 「どらどらパーク米子」看板の設置



どらドラパーク米子



●活動内容

- 美化基金活動



みんなできれいに!

どらドラパーク米子

売上げの一部を
米子市に寄付

- 清掃活動
- 花壇の植栽
- 施設の修繕・美化
- etc..

- 米子市内のスーパーで美化基金セールを実施



- 日本海新聞月決め広告



- だんだんバス広告

その2 「どらやき」を米子名物に

どらやきで溢れる米子のまちを目指し、どらやき普及活動を進めていきます。



●活動内容



○丸京庵から米子名物「どらやき」を発信していきます



○飲食店にどらやき



○給食にどらやき



○ガイナーレ鳥取の試合にどらやき協賛



○BSSまつりに参加



○正月マラソンにどらやき協賛



○丸京工場祭

重点プロジェクト

その3

4月4日は、「どらやきの日」

4月4日は、みんなでどらやきを食べよう!社会に新しい文化をつくっていきます。



日本記念日協会認定!!

4月4日 「どらやきの日」
みんなで食べてみんなでしあわせ

4月4日はみんなの日。4と4を合わせた、しあわせ(4合わせ)の日。男の子も女の子もみんな一緒に幸せになる日。ふんわり優しく甘くて美味しい。みんなで食べてまるい笑顔。みんなでどらやきを食べれば、みんなが幸せになれる4月4日は、「どらやきの日」。

●活動内容

○4月4日消費者キャンペーン

〈期間限定〉
しあわせどらやき
&
プレゼントキャンペーン



○スーパー・マーケットトレードショー(東京ビッグサイト)にて4月4日どらやきの日のPR

「どらやきのまち米子」物語のゴール

自分たちのまちに「自信と誇り」を持ち、生き生きと暮らす姿。その姿がこれからの中の社会のゴールであると確信しています。

人間にとって「何がしあわせか?」

しあわせの尺度を未来志向で創っていく時代となりました。自分の座標軸をしっかりと創造していく楽しい時代となりました。私たちは社員さん、地域と深い絆で結ばれた強い企業となり、企業成長を遂げながら、社会からいただく利益を地域が元気になるために還元します。

「米子をもっと元気に!」

この「どらやきのまち米子」宣言に、私たちの企業経営理念である「人のお役に立つ」の想いをこめています。子どもたちが健康で元気に遊びまわる姿。人が人をあてにしながら助け合って生きている町内。あいさつを笑顔でかわしながら通り過ぎる市民。地域というあたたかく、やさしい母親の胎内のようなぬくもりが人間には必要です。私たちのゴールはそんな企業づくりと地域貢献です。

米子市を、もっと元気で、活気が溢れ、明るいまちに!!

丸京製菓株式会社
代表取締役社長 鷲見 浩生

